

## 調達

## サプライヤーとともに取り組む サステナビリティ推進

アイシングループでは、新たなサプライヤーとの取引にあたり、ISO9001・IATF16949やISO14001認証の取得状況調査、品質監査等を実施した上で取引を開始し、その後も関連部署と協業して品質・安全・環境・耐震などの点検を継続して実施しています。

サプライヤーとは、オープンでフェアな精神に則り、競争法や贈収賄防止、反社会的勢力の排除などの法令遵守に加え、安全衛生・公害防止などへの留意を明記した取引基本契約書を取り交わし、公正な調達活動を推進しています。

また、国内中小規模のサプライヤーに対する代金支払いを現金に一本化するなど、サプライヤーとの「未来志向型の取引慣行」の実現に向けた取り組みをグループ全社で進めています。なお、アイシングループでは企業行動倫理相談窓口を設けて、サプライヤーからの相談・困りごとなどを受け付けています。

昨今の資源高騰に関しては、サプライヤーに寄り添いながら困りごとをヒアリングさせていただき、解決に向けともに推進しています。

## 仕入先サステナビリティガイドライン

2022年度においては持続可能な社会の実現に向け、ESG課題への対応をより推進するため、要求事項をサプライヤー向けに構成した「仕入先サステナビリティガイドライン」を発行しました。サプライヤーの皆さまとの取引を通じてともに取り組みたいと考える基本的な事項をガイドラインで示した上で、主要サプライヤーへの説明会を通じ理解活動を推進してきました。当ガイドラインを遵守いただける旨の確認書に、サプライヤーからご署名いただくことにより合意形成を図ってきました。

また、「アイシングループグリーン調達ガイドライン」を発行することでCO<sub>2</sub>をはじめとする温室効果ガスの削減、廃棄物を含めた資源循環、水保全、生物多様性の保全をサプライヤーに求めています。



「仕入先サステナビリティガイドライン」  
[https://www.aisin.com/jp/sustainability/social/supplier/pdf/suppliers\\_sustainability\\_guideline.pdf](https://www.aisin.com/jp/sustainability/social/supplier/pdf/suppliers_sustainability_guideline.pdf)



## サプライヤーに対するリスク評価と対応

アイシングループは、サプライヤーの品質レベル向上を図るための品質監査を実施しています。国内では保安部品など要求品質が高い部品のサプライヤーやIATF16949未取得、品質不具合発生実績等のリスク分析に基づく393社を対象に品質マネジメント体制の整備と遵守状況について3年に1回以上の頻度で監査を計画。2021年度は20社の監査を実施しました。この監査では、品質基準類の順守状況を確認し、問題があった場合はその原因と是正処置を改善計画書に落とし込み、スケジュールを決めて一つずつ確認していき、改善するまでアドバイス、検証を続けます。

また、自然災害や火災に加えて、昨今は感染症や地政学リスクも高まっています。購入品の安定調達を脅かすリスクに対しては、サプライヤーから提供いただいた購入部品・原材料の製造工程に関する情報を専用システムに登録・活用し、初動と復旧対応を迅速に行える体制を整えています。有事の際にはグループ各社が持つサプライチェーン情報をもとに、グループ全体での影響をタイムリーに特定しています。

昨今特に受給が緊迫している半導体部品や樹脂原材料に関しては、供給リスクを加味した必要在庫を確保することで、早期での対策実施と供給継続につなげています。